



## トラック荷台が灯油配管（移送取扱所）に衝突したことによる漏洩

基本事項	
事例番号	00336
投稿日	2010/03/05
タイトル	トラック荷台が灯油配管（移送取扱所）に衝突したことによる漏洩
発生年月日	2006/03/31
発生時刻	10:30
気象条件	天候：晴れ 気温：6 湿度：42%
発生場所（国名）	日本
発生場所（都道府県、州、都市など）	宮城県
プロセス	貯蔵・油槽所

事故事象		
事故事象	概要	2006年3月31日10時30分、移送配管架台の高さ制限以上のトラックが移送配管ドレンパイプに衝突し、パイプを破損して灯油が漏洩しているのを作業員が発見した。直ちに関係部署に通報し、灯油移送を停止した。灯油漏れは土のうによる流出防止、オイルフェンス展張による拡散防止、移送配管内滞油の回収作業を実施し、11時48分に応急処置を終えた。17時に油回収などの処理が完了した。  【事故事象コード】漏洩・噴出
	経過	概要参照
	原因	トラック運転手が自車の車高を勘違いして、トラックが移送配管架台の配管ドレンパイプに衝突したものである。

起回事象・進展事象		
起回事象	なし 【起回事象コード】静止機器の腐食・劣化・破損	
起回事象の要因	1	自車の車高の勘違い 【要因コード】直接要因>人的要因>うっかり・ぼんやり・疲労・ストレスなど
	2	自車の車高の確認



## トラック荷台が灯油配管（移送取扱所）に衝突したことによる漏洩

		【要因コード】直接要因>人的要因>作業確認不足・ミス
	3	高さ制限表示、大型車両通行禁止表示の設置や通行制限バーの設置などの安全対策 【要因コード】直接要因>工事・施工要因>その他（テキスト入力）
進展事象・進展事象の要因	1	<b>移送配管ドレンパイプにトラック荷台が衝突パイプが破損</b> 【事象コード】静止機器の腐食・劣化・破損
	2	<b>移送中の灯油が漏洩</b> 【事象コード】漏洩・噴出
	3	<b>移送停止</b> 【事象コード】プラントシャットダウン
事故発生時の運転・作業状況		定常運転中・ルーチン作業中 【補足説明】 灯油移送中
起回事象に関係した人の現場経験年数		不明・該当せず

装置・系統・機器		
起回事象に関連した装置・系統		貯蔵・入出荷設備>その他（テキスト入力） 【補足説明】移送取扱所
起回事象に関連した機器		静止機器>配管>配管本体 【補足説明】ドレン配管
発災装置・系統	1	貯蔵・入出荷設備>その他（テキスト入力） 【補足説明】移送取扱所
発災機器	1	静止機器>配管>配管本体 【補足説明】ドレン配管
事故に関連したその他の機器	1	その他の機器>その他の機器>その他の機器（テキスト入力） 【補足説明】トラック
運転条件		温度：常温、圧力：常圧
主要流体		灯油
材質		

### 被害状況



## トラック荷台が灯油配管（移送取扱所）に衝突したことによる漏洩

被害状況（人的）	死者：なし 負傷者：なし
被害状況（物的）	灯油3000リットル
被害状況（環境）	なし
被害状況（住民）	なし

### 検出・発見

事故の検出・発見時期	1	作業中・作業後に気がつく 【補足説明】移送作業中の作業員
事故の検出・発見方法	1	五感（異音、異臭、振動、目視など）

### 想定拡大と阻止

重大事故への拡大阻止策・処置	移送作業緊急停止および移送配管内滞油回収  土のうによる流出防止、オイルフェンスによる拡散防止
想定重大事故	環境汚染

### 再発防止と教訓

再発防止対策	通行制限バーの設置や大型車両通行禁止の看板設置などの現場安全対策施工  入構許可証に大型車両通行禁止の説明記入  関連業者への教育
教訓	

### 安全専門家のコメント

安全専門家のコメント	今回の事故のように運転手が勘違いしたのでは、看板、標識を設置しても防ぎようがないが、同様の事故を防ぐために、協力会社従業員を始めとし、車両の運転に関係している者への常日頃の教育が必要であろう。また、再発防止に述べられている様に通行制限バーの設置を行い設備の保護を行うことが重要といえよう。  配管のドレンパイプは配管ラックより低い位置に設置されていたと推定されるが
------------	--



## トラック荷台が灯油配管（移送取扱所）に衝突したことによる漏洩

、車の通る可能性のある位置に設置すること自体が危険予知不足である。

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など） 消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

🔑 勘違い

🔑 通行制限バー

🔑 高さ制限

🔑 配管 > パイプ

▶ 関連情報